

後ホームヘルプ事業を継続して実施してまいります。

高齢者および障害者福祉対策といたしましては、

いきいきサロン事業、食の自立支援事業、通所型介護サービス事業、高齢者および障がい者住宅改造成事業の継続事業をはじめ、障害者自動車運転免許取得・車輛改造助成事業および難聴児補聴器購入費助成事業に取り組むこととしています。特に、いきいきサロン事業につきましては、現在36地区で開催されておりますが、町内全地区での実施を目標として積極的に推進してまいります。

町社会福祉協議会の地域福祉計画および組織改革計画を踏まえ、町社会福祉協議会の円滑な事業運営と必要な改革を進めるとともに、先般創設した「氷川町介護・障がい

福祉関係施設連絡会」を活用し、行政、民間施設と連携を図り、地域で支える介護福祉の環境づくりを進めてまいります。



人を育む魅力ある教育の振興

新規事業として、平成30年度から平成32年度までの3カ年計画により、町内の小中学校への空調設備（エアコン）を整備

してまいります。平成30年度に中学校の実施設計の策定、平成31年度に中学校の工事施工と小学校の実施設計の策定、平成32年度に小学校の工事施工を予定しています。

新規事業として、中学生の英語検定受験助成事業を創設します。財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定費用の一部を助成し、英語に対する学習意欲の向上を図ります。

小中学校に導入が完了したICT機器（電子黒板、タブレットなど）およびICT支援員2名体制で学習支援を行うことで学力の向上を図ります。

継続して、県費教職員を指導主事として本町に配置し、教職員の授業力向上および学級経営、生徒指導などへの指導助言とともに、本町教育の特色であるコミュニティス

クルールの取り組みを推進してまいります。

全小中学校における要支援児童生徒への教育支援を行う要支援児童生徒教育支援事業および地域ぐるみで学校運営を支援する学校支援地域本部事業も継続して取り組んでまいります。特に、要支援児童生徒支援員につきましては、11名体制で支援してまいります。

学校給食における地元食材の活用を図るための助成を行うとともに、必要な備品の更新を行うとともに、学校施設修理と教材備品などの購入については、学校現場の要望を尊重して進めてまいります。

小学校部活動の社会体育移行については、本年4月から運用されますが、円滑な活動が図られるよう支援を行ってまいります。幼児期における質の高

い保育・教育を支援するための子ども・子育て支援事業計画および新次世代育成支援対策行動計画を策定しましたので、その計画に基づく事業を実行し、すべての子どもと子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる町を目指してまいります。

八火図書館も多くの町民の皆さまにご利用頂いておりますが、今後も蔵書数を増やすとともに、本施設を中核として学校図書館との連携を図りながら積極的に図書活動を実施してまいります。

国指定史跡である野津古墳群並びに大野窟古墳の保存活用方針について、報告書が提出されましたので、その具現化を目指してまいります。

併せて、熊本地震で被災した大野窟古墳墳丘の航空レーザー測量を実施し、復旧へ向けた修復工

地球環境への負荷軽減

魅力ある暮らしやすいまちづくり



法の検討や基本計画の策定を行います。

氷川町体育協会並びに総合型地域スポーツクラブ「ひかわスポーツクラブ」の組織の強化と会員の拡大を目指して、相互に連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行います。

による自然と共生するまちづくりをめざして、太陽光発電施設等の費用助成を行う住宅用新エネルギー等導入促進事業及び合併浄化槽設置助成事業を継続して取り組みます。

生ごみ減量化をめざした電気式生ゴミ処理機購入助成は、継続して実施することとし、町民の皆さまへの意識醸成と具体的な啓発活動を積極的に推進してまいります。

海洋環境保全に資するとともに、河川環境保全への波及効果をめざして、海岸漂着物および漂流・海底ごみの回収処理事業を実施します。

八代市環境センターが本年7月より試運転を開始し、10月から本格稼働することに伴い、八代生活環境事務組合の定款変更へ向けた同文議決を本定例会に提案しました。

なお、八代市環境センター

における氷川町のごみ広域処理につきましては、現在、氷川町、八代市、八代生活環境事務組合に環境省および熊本県を含めた「八代市・氷川町循環型社会形成推進協議会」において継続して協議を重ねてまいります。

防災・防犯対策といったしましては、熊本地震を踏まえて一部見直した氷川町地域防災計画に基づく対応を徹底するとともに、新たに10地区において地区別防災計画策定を行います。

2年目を迎える防災行政無線デジタル化事業につきましては、屋外放送施設等の整備を進めるとともに、既に整備した防災備蓄倉庫における災害対応資機材および食糧などの備蓄を計画的に進めてまいります。

八代広域行政事務組合鏡消防署氷川分署が、本

年4月より供用を開始されますので、消防団および自主防災組織との連携を図るとともに、氷川分署の円滑な運営ができるよう支援してまいります。

消防団および自主防災組織を核とした地域防災体制の充実と地域ぐるみで見守る防犯体制を確立するとともに、機能的な組織づくりを図ります。特に消防団につきましては、団員の確保に努めるとともに、消防活動資機材及び施設整備を行い、活動環境の充実と改善を図ります。

下水道事業について、竜北地区の整備が完了しましたので、今後は各家庭への普及率の向上を図ります。宮原処理区の八代北部流域下水道への編入に向け、更に関係機関との協議を進めてまいります。

新規事業として、氷川

町下水道ストックマネジメント計画基礎調査に着手し、下水道施設の点検調査を進めてまいります。

集落内の道路・河川および排水路につきましては、氷川町道路整備基本計画と地区からの要望との整合性を図りながら、社会資本整備総合交付金等の国・県の事業を積極的に活用しつつ、優先順位を付けて整備を行うこととしていきます。

また、大野交差点の改良および本山地区の県道改良につきましては、熊本県が実施主体となっており、事業を進められていますので、町としても連携協力して、事業の円滑化を図ってまいります。

町が管理する既設の橋梁については、橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、優先順位をつけて改良工事を行います。

町内の住宅建築物の安